

「イソベっちの、前へ前へポッポー！」

2011年10月16日(日曜)

ゲスト:徳谷章子さん(ハートフレンド 代表理事・事務局長)

第 25 回の「のびのびさん」は、ハートフレンド代表理事・事務局長、徳谷章子さんです。

Q. 大商は大阪NPOセンターとともに、子育て支援やまちづくりなど、地域が抱える課題にビジネスの手法で取り組むコミュニティ・ビジネス「CB」、市民社会組織「CSO」を表彰する「CB・CSOアワード」を主催していて、事業内容や活動実績を称え、賞金を出したり経営をサポートしたりしているんです。徳谷さんは、そのアワードで2009年度、優秀賞を受賞されたんですね。ハートフレンドは、子供たちが元気よく遊べる場作りや、勉強ができる「てらこや」、ジュニア・リーダークラブ、街をゴミ拾いしながら歩き防犯マップを作る清掃・探検クラブ、集いの広場、高齢者のための「おとなのてらこや」、ハーモニカ教室などさまざまな活動をしており、それが評価されたんだと思います。

Q. 活動のキッカケは何ですか？

30年ほど前に、結婚して東住吉区の桑津という街に来たんですが、最初は友達がいなくて赤ちゃんができてもし行き場がありませんでした。そんな時、1年で取り壊す予定だった仮設の消防署を、平成15年に子供たちの集まれる憩いの家として利用させてもらえることになりました。そこを拠点に、お母さんたち15名と町会長さんを相談役に立ち上げたのがハートフレンドです。

Q. 「CB・CSOアワード」に応募してよかったことはありますか？

応募をするということは、自分たちの活動を見直すいい機会だと思います。また賞をいただいたおかげで、色んな審査員の方々からコメントをもらい、受賞後も大阪NPOセンターさんにご指導いただき、大商さんに応援してもらい、すごく前がひらけました。しかし、私たちの力ではまだまだこれから。赤ちゃんのいる方、高齢者の方、障がいのある方も、もっと安心して暮らせる街になるよう頑張りたいと思っています。

Q. 大切にしている言葉「のびのびワード」を教えてください。

「つながり」です。

街で声をかけたり、かけてもらえることは嬉しい。これは人とのつながりがあるってこそだと思います。

ありがとうございました。